

# 治療抵抗性うつ病に対する経頭蓋磁気刺激療法(TMS)研究の 参加者募集

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科では治療抵抗性うつ病に対して経頭蓋磁気刺激療法（TMS）の効果予測因子の探求を目的とした臨床研究を実施しています。この研究に被験者として参加して頂くと、無料で経頭蓋磁気刺激療法（TMS）を受けることができます。

※治療抵抗性うつ病とは、十分に抗うつ薬を使っても改善しない、あるいは副作用のために抗うつ薬を十分に使うことができないうつ病のことです。

## ★研究の目的

治療抵抗性うつ病の方に TMS を受けて頂き、TMS の有効性について検討するとともに、TMS の実施前後で治療過程に対応した脳の血流変化を評価することにより、TMS の抗うつ効果のメカニズムについて研究しています。

## ★経頭蓋磁気刺激療法（TMS）とは？

うつ病に対する新しい治療方法です。頭の皮膚の上にあてた電磁石の磁場を変化させることにより、弱い電流を脳内に発生させて大脳の神経細胞を刺激して脳機能を調整する治療法です。うつ病では脳機能の一部が異常な状態になっていると考えられており、TMS によりこれが調整されることにより改善が得られると推測されています。

TMS は、米国・カナダ・オーストラリアでは既に治療抵抗性うつ病の治療として保険適応が承認されている安全な治療で、薬物療法や電気けいれん療法と比べて有害な作用や侵襲性が少ないという特長があります（日本国内でも近々保険適応となる見通しです）。



TMS を実施する際は、刺激装置のコイルを頭に当てて椅子に横になっているだけで済みます。麻酔等の処置は必要ありません。

## ★副作用について

副作用が少なく、安全性が高いのが特長ですが、治療中に 32-47%程度の方が頭痛を感じると言われています。ただし、刺激をやめれば数時間で消失するとされています。その他、けいれんの報告はありますが、0.1%と極めて稀です。近年、装置から発生する機械音により聴力低下の危険性があることが指摘されており、治療中は耳栓を使用して頂いています。これまでに生命に関わるような重篤な副作用の報告はありません。

## ★実際の流れ

TMS は、当科病棟に入院しながら受けて頂きます。概ね以下のようなスケジュールで、8 週間で終了します。TMS の有効性評価のため、原則として薬剤の変更や調整は行いません。

### ◆入院後 1 週目まで…事前の検査

採血、心電図、脳波、脳画像検査 (MRI と SPECT)、心理検査

### ◆入院後 1 週後から 8 週まで…TMS 実施

1 日 1 回 40 分、週 5 日実施（合計 26 回）

2 週間おきに心理検査を行い治療効果を測定

TMS 開始後 4 週目に MRI と SPECT で脳機能を再評価

## ★研究の被験者として TMS を受けられる方には条件があります

### 【TMS を受けられる方】

- ・ 20 歳以上、70 歳以下の方
- ・ 中等症から重症と診断されるうつ病の方(目安としては HAM-D18 点以上の方)
- ・ 抗うつ薬による適切な薬物療法が無効だった方
- ・ 電気けいれん療法や TMS をまだ受けていない方

### 【TMS を受けられない方】

躁うつ病の方や、幻覚妄想や著しい自殺念慮を伴う場合、強迫性障害、PTSD、摂食障害、てんかん、神経疾患、薬物・アルコール依存症などを合併している場合、妊娠中の方、重篤な身体疾患をお持ちの方などは受けられません。

※TMS の対象となるかどうかは、当科の判断を優先させていただきます。基準にあてはまらない場合はご希望であってもお断りする場合がありますので予めご了承ください。

## ★費用

TMS はうつ病に対する治療法としてまだ日本では保険承認されていないため、当科では保険診療ではなく臨床研究として実施しています。従って費用は通常の入院に伴う経費のみで、TMS についての被験者の負担はありません。

## ★参加ご希望の場合

現在、他の医療機関で治療中の場合は、診療情報提供書（紹介状）を担当の先生に作成頂いた上で、以下までご連絡下さい。

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科（TMS 担当・井川）  
03-3964-1211（代表からメンタルヘルス科外来をお呼び出し下さい）  
〒173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1

その他の場合も、下記にお気軽にお問合せ頂ければ、TMS の適応の有無についてご説明致します。

帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科（TMS 担当・井川）  
e-mail : gagaru@med.teikyo-u.ac.jp

## ★TMS 終了後は

ご本人及びご家族に治療の経過と検査結果についてご説明します。他の医療機関からご紹介の場合は、退院後は再度紹介元の医療機関で治療を継続して頂きます。紹介元の医療機関にも、治療経過と検査結果をご報告させていただきます。

